



学校と地域をつなぐ



社会教育主事通信
～えにし～

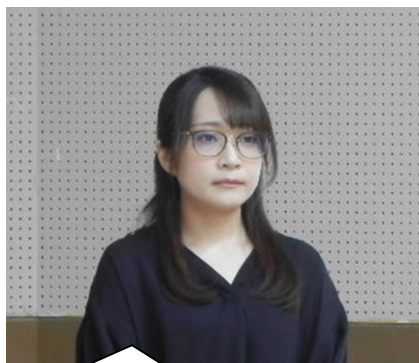
松江市教育委員会
生涯学習課・学校教育課
2025/7/18(金) 第2号

地域・わかものがお互いに支え合う取組

松江市青少年育成連絡協議会 研修会で わかもの取組紹介 を実施しました！

5月17日(土)に市民活動センターで標記の会が開催されました。最初に総会があり、まず青少年育成連絡協議会会長の藤原恵子さんから昨今の青少年育成の成果や、今年度の取組について期待していることなどの話がありました。その後の研修会では、3人のわかもの(竹本さん、野々内さん、藤田さん)から演劇グループ「あめいろ」結成までと結成から現在までの軌跡、グループや自身の成長やグループメンバーが様々な地域の方々との関わりから学んだこと、得たものについて発表がありました。

また、研修会参加者のグループトークを通して、各地区での青少年育成に対する考えや情報を交換し、3人のわかものにもたくさん質問をしている様子が見られました。かれらの今後の活動と、各地区の青少協の取組充実に期待しています。



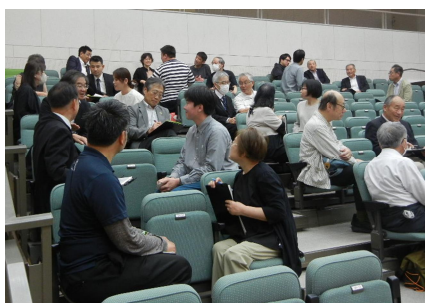
竹本 莉乃 さん

・演劇グループ「あめいろー高校生の演劇プロジェクト」事務局
・NPO 法人東出雲まちの駅女寅 副理事長



野々内 詩織さん

・演劇グループ「あめいろー高校生の演劇プロジェクト」事務局長



・劇団グループ「あめいろー高校生の演劇プロジェクト」現役劇団員
藤田 馨 さん



学校運営協議会研修会・地域学校協働本部連絡協議会を開催！

学校・家庭・地域の連携・協働体制の在り方について、一緒に考えを深める機会となるように「学校運営協議会研修会」並びに「地域学校協働本部連絡協議会」を開催しました。

湖北白鳥学園から古江小学校長の青山巧さんの事例紹介や島根大学大学院教育学研究科講師の大野公寛さんの「学校運営協議会と地域学校協働本部」と題しての講話、学園ごとの関係者による協議・意見交換を行いました。

参加者からは、「わかりやすく新たな視点から考えることができた」「具体的な実践に基づいた内容で理解が深まった」「ジェネレーターという役割が印象に残った」等の感想がありました。特に一緒に参加して一緒につくる「ジェネレーター」という役割に関心があったようです。また、「学校運営協議会の趣旨の再周知」「チェックリスト等を用いた現状分析」といった今後に向けた課題も示唆されました。

この会議で話し合われたことが、学校や地域、地域学校協働本部での具体的な取組につながっていくように支援していきたいと思います。



家庭教育支援の取組

おやがく 親楽ファシリテーター養成講座を実施しました！



松江市では家庭教育支援プログラムの1つとして、H23に島根県教育委員会で作成された親学プログラムの実施を進めています。松江市では、「親楽」という形で、より楽しく学びつながる場を推進しています。その親楽プログラムを実施するためには進行・支援する「親楽ファシリテーター」の養成が必要です。

東出雲公民館（ヨリアイナ東出雲）で6月18日（水）に実施した親楽ファシリテーター養成講座には、松江市・安来市・雲南市より5名参加いただきました。講座では、親楽の目的やファシリテーターとしての心構え・技能等を確認したり身につけたりしました。また、演習を通して実際にファシリテーター役・受講者役を体験しながらスキルアップも図りました。今後親楽プログラムの現場でサブファシリテーターやサポートの経験を積み、親楽ファシリテーターとして活躍してくれることを願います。

“人気沸騰！親楽” 様子を紹介します！

今年度最初の親楽は御津保育所さんでした。（6月6日実施）

「私のほめ方・しかり方」で、想定された場面でこどもにどんな声をかけるかロールプレイの手法でワークショップを行いました。普段のこどもへの声かけをふり返ったり、しかり方のポイントをつかんだり、気づきの多い充実した会になったようでした。保育参観前にこどもへの関わり方について、わいわいしながらじっくり考えたことで、その後の保育参観でもわが子と笑顔で楽しそうにふれあう様子が輝いて見えました。



お問い合わせ先

生涯学習課（川神 拓人）

TEL 55-5288

FAX 55-5543

E-mail: s-kikaku@city.matsue.lg.jp



学校教育課

学び推進係（富谷 衡）

TEL 55-5341

FAX 55-5251

E-mail: manabi@city.matsue.lg.jp



バックナンバーは
こちらから